

安全に作業するための

8つのルール

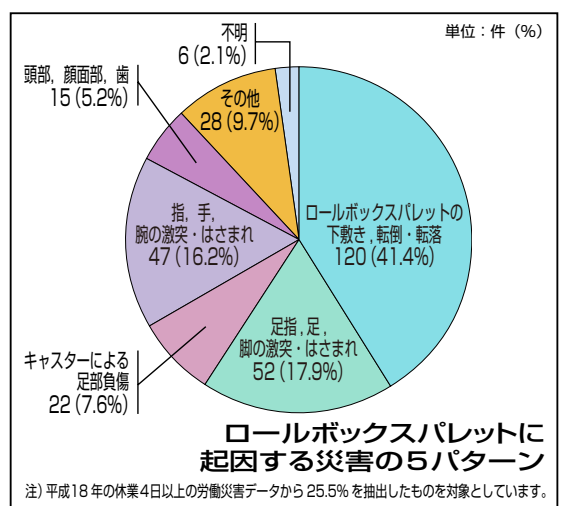


とても便利なロールボックスパレットですが、下敷きや手足の負傷による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、カゴ車とも呼ばれる人力運搬機です。開口部以外の3面がパネルで囲まれているため、荷崩れや荷物の損傷を防いで移動できるだけでなく、店舗では商品棚として使用することもできます。このように、物流の効率化や作業者の負担軽減に貢献する、とても便利な存在で、多くの職場で活用されています。

そんな利便性の高いロールボックスパレットですが、近年では労働災害が多数発生しており、その約4割が下敷き事故でした。また、ケガをした半数近くの方が作業経験1年未満だったことから、作業に不慣れな時期での対策がカギとなります。

このリーフレットでは、ロールボックスパレットを使うときに、守ってほしい「8つのルール」を紹介しています。ぜひ、お読みになって、安全に作業を行ってください。



rule 6 荷物の積載

基本的な積み方をマスターし、荷崩れを防ぎましょう。

遵守事項

- ロールボックスパレットの最大積載量を確認してください。
- 安全のため、重いものは下部に、軽いものは上部に積載してください。
- 大小の積荷がある場合は中間棚を使用してください。
- 荷物を積み前に、積載面と本体がロックされているかを確認してください。
- ピンで固定する中間棚の場合、すべてのピンをロックしましょう。
- 荷崩れ防止、ロールボックスパレットの外側への膨らみ防止のため、



注意事項

- 中間棚はガタつきがあると荷崩れするため注意しましょう。



禁止事項

- 最大積載量を超えた積載はしない。
- ロールボックスパレットからはみ出した積載はしない。
- 側面パネルに立て掛けて積載しない。
- 側面パネルを圧迫するような積載をしない。
- 荷崩れのおそれがあるため、ロールボックスパレット本体や中間棚のピンが変形したまま使用しない。

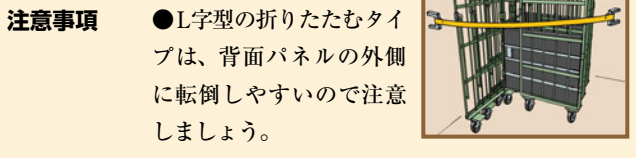
rule 7 折りたたみ・組み立て・積み重ね

折りたたむと不安定になるので、転倒には注意しましょう。

遵守事項

- 転倒のおそれがあるので、折りたたんだ状態ではなく、必ず組み立ててから移動してください。
- 狭い通路を通るときなど、止むを得ず、折りたたんだ状態で移動する場合は、側面パネルの内側に立って、押して移動してください。
- 折りたた

んだロールボックスパレットを積み重ねて保管する場合は、路面の傾斜や風によって転倒するおそれがあるので、平らな場所で、ロープ等で固定して動かないようにしてください。



注意事項

- L字型の折りたたむタイプは、背面パネルの外側に転倒しやすいので注意しましょう。

rule 8 テールゲートリフターでの取扱い

昇降時は特に危険なので、気をつけて作業しましょう。

基本事項

- 昇降板の最大積載重量を超えないようにしてください。
- 昇降板の下に入らないでください。
- 転倒防止のため、できるだけ水平な場所で作業してください。

昇降板の昇降

- テールゲートリフターの操作は昇降板から離れて操作してください。
- 作業者は昇降板に乗って操作しない

てください。

●荷台と接地面にそれぞれ作業者を配置してください。

昇降板が荷台の高さにある時

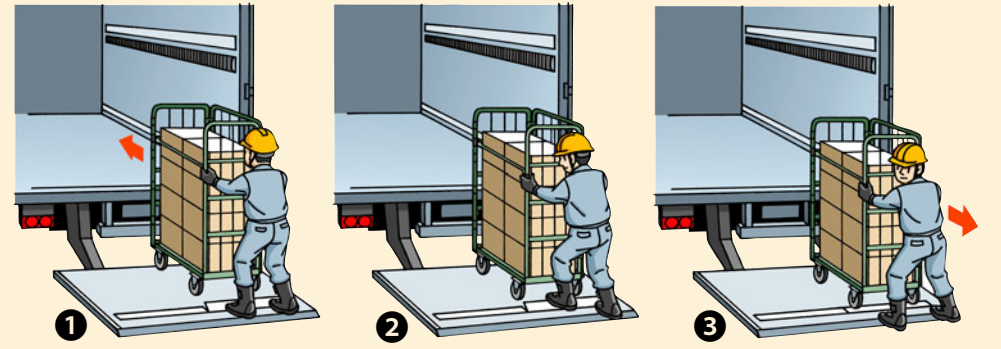
- 荷台からロールボックスパレットを昇降板に移動するときは、昇降板のキャスタートップが出ていないことを確認してください。
- 側面にキャスター落下防止枠のない昇降板上で移動するときは、側面から転落しないよう、スペースを十分に確保してください。

昇降板が接地面にある時

- 昇降板から接地面にロールボックスパレットを移動する場合、昇降板と接地面との段差に十分注意してください。

昇降板から接地面にロールボックスパレットを移動する手順。

- ①ロールボックスパレットを荷台側へ一旦移動し、②キャスタートップを解除し、③その後、ロールボックスパレットを接地面に引き出します。



※ここに紹介した8つのルールは安全作業への大切な入口です。このリーフレットについて更に詳しく知りたい方は、労働安全衛生総合研究所技術資料 JNIOSSH-TD-No.4 (2015)「ロールボックスパレット起因災害防止に関する手引き」を参照してください。独立行政法人労働安全衛生総合研究所ホームページ <http://www.jniosh.go.jp/> からダウンロードできます。